

5. 美術館と市内文化施設等との連携

(1) アトリアの活用

「新しい表現に出会う場として」展開してきたアトリアですが、収蔵設備がないことや、展示室が手狭で必要な温湿度管理ができないことなど、美術館活動を展開するために必要な施設機能を備えているとはいえません。

そこで、美術館を本市の「文化創造・発信拠点」と位置づけ、アトリアは「教育普及」「市民アートの発表の場」「各種ワークショップ」を主に担う施設として活かします。

【事業展開】

美術館	
収集・保存	・作品収集 ・収集した全ての作品の保存管理
調査・研究	・全ての事業活動に関わる調査・研究
展示・公開	アトリア事業（連携） ・市民参加型の企画展示 ・若手育成のための企画展示
教育普及	・やさしい鑑賞教室・実技講座 ・ワークショップ ・理解を深める美術講座 ・専門性の高い実技講座 ・アーティストによる公開制作
学校連携	・アーティスト・イン・スクール ・学校教育における作品発表 ・作品鑑賞教室